

# 森林環境管理の即戦力となるリーダーを育成する(仮称)奈良県フォレスト・アカデミー(林業大学校)の設置、運営に対する支援

【担当省庁】農林水産省、林野庁

## 奈良県における取組

・森林の管理放棄が顕著となり、防災等の視点からこれに対応するためには、新たな森林環境管理を目指す必要がある。

・奈良県では、新たな森林管理のお手本として、スイスの森林経営を参考にしているところである。

・スイスでは、「生産・防災・レクリエーション・生物多様性」の4つの機能を重視しながら、持続可能な森林管理が成立している。その担い手として、「フォレスター」が存在する。



・新たな森林環境管理の確実な遂行には、スイスのフォレスターのような人材の存在が必須であり、その育成が必要である。



・現在、奈良県では(仮称)奈良県フォレスト・アカデミー(林業大学校)の設置に向けて、リース林業教育センター(スイスのフォレスター養成校)及び三重県・和歌山県とも連携を図りながら、検討を進めているところである。

平成30年度の県予算

事業名:新たな森林環境管理体制導入推進事業

リース林業教育センター校長による総合アドバイス事業など  
委託費ほか 25,202千円

## 国にお願いすること

新たな森林環境管理の担い手となる人材を育成するため、  
(仮称) 奈良県フォレスト・アカデミー(林業大学校)の設置が  
不可欠であり、以下の取組をすすめているところ

- (仮称)奈良県フォレスト・アカデミー(林業大学校)開校  
へ向けてのカリキュラム検討(スイス・リース林業教育  
センターからのアドバイス(有料)等)
- 講師陣の検討 等

新たな森林環境管理制度を担う人材を育成する(仮称)奈良県  
フォレスト・アカデミーの設置、運営に対し、**特段の支援を図ら  
れたい。**



経済と環境が両立する森林



スイス・リース林業教育センターから受け入れた実習生



スイス・リース林業教育センター